

軽井沢スキーバス事故 現地調査

一本村議員、たけだ候補ら



本村伸子衆院議員とたけだ良介参院比例候補は1月30日、雪の積もる中、長野県軽井沢町で起きた貸切スキーバス転落事故の現場に行き、国土交通省や警察関係者から事故の様子を聞きました。藤野保史衆院議員、辰巳孝太郎参院議員、藤岡義央長野県議、土屋浄軽井沢町議も参加しました。

事故現場では亡くなった15人の方を追悼して献花しました。現場は、あと少しで坂がおわる場所でした。軽井沢警察署にも行き、事故を起こしたバスも見ました。窓ガラスが割れ、特に右側が大きくつぶれていました。

国土交通省、軽井沢警察署長や長野県警の話では、事故現場は、事故が少なくともこの3年間なかったところでした。それなのに何故、尊い命が奪われなければならなかったのか…。違反を繰り返す貸切りバス事業者を参入させた規制緩和を行った国の責任は重大です。

URから聞き取り 甘利前大臣疑惑

甘利明前経済再生相の口利き疑惑で、井上哲士参院議員、本村伸子衆院議員ら党国会議員8人が2日、国会内で国土交通省と都市再生機構（UR）から聞き取りを行いました。S社に対するURからの補償金支払いの経緯や、UR側が一部公表した甘利氏側とのやりとりなどについて、提出された資料に基づいて詳細を確認しました。

ほかに穀田恵二、笠井亮、塩川鉄也、斉藤和子各衆院議員と仁比聡平、辰巳孝太郎各参院議員が参加しました。

S社とURとの補償交渉は、5種類もあります。そこに甘利事務所が絡んでいました。



「誰のこどもも殺させない」

ママの会@愛知のパレードに本村議員



本村伸子衆院議員は1月31日、安保関連法制に反対するママの会@愛知のパレードに参加しました。

「誰のこどもも殺させない」「こどもを守ろう」一。ママの会パレードに300人が参加し、名古屋市繁华街で声をあげました。党からは柴田民雄、西山あさみ両名古屋市議、太田ゆきえ津島市議も参加しました。

民主党の近藤昭一、山尾しおり両衆議院議員も参加し、スピーチしました。

パレードでは、「民衆の歌」や「手のひらを太陽に」などを歌い、ドラムを打ち鳴らしながら、「ママは戦争しないときめた」「だれのこどももころさせない」などコールし、安保法制を廃止にしようとアピールしました。